

(第3種郵便物認可)

三州豚のステーキキ串優勝

豊田JCご当地グルメ王座決定

豊田市版B級グルメの王座を決める地域活性化イベント「第3回おいでんグランプリ」は最終日の29日、豊田スタジアム(千石町)であり、購入者と審査員による投票で「ネギ右衛門豊田店」(前田町)の「とろろま!!三州豚のステーキ串」がグランプリに輝いた。

豊田青年会議所(川合

雄造理事長)が「とよた産業フェスタ」の主要事業の一つとして企画。3年目の今年は「串が食材同士をつなぐように、人

と人を結びたい」(豊田JC・矢野栄二郎委員長)と「串」を使うことを条件に、出店者15店が地材を1品以上使い、独自に創作した料理を来場者に審査してもらい、優勝者を決めた。

購入者には投票用のおはじきが渡され、複数を食べ比べるなどして各自投票した。「三州豚のス

ステーキ」は地元豚肉を低温でじっくり2時間焼いた後、衣をまぶして揚げる。11月の豊田マラソン会場など市内のイベントで販売される予定。

おいでんグランプリは28日から始まり、市内外の180ほどの企業、団体が出展した「とよた産業フェスタ」で同時開催された。【後藤真一】



地元産の食材に飲食店15店が創作した料理を味わう来場者ら=29日、豊田スタジアムで